



未来の笑顔の種まきを ～食品ロスゼロの愛知県を目指して～

チーム名：資源循環・廃棄物

メンバー：相川 昌範、石川 麻利江、吉川 慧、杉山 憲司、谷岡 文太

アドバイザー・講師：入澤 寿平、薄井 智貴、町田 洋

現状の把握

あるべき姿とギャップ（横たわる課題）

現状522万tある食品ロスをゼロに！

《現状の課題》

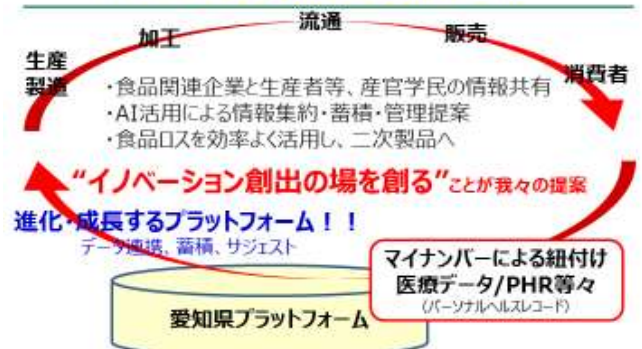
視点	課題
各種技術	技術の共有ができていない（保存技術不足）
情報共有	各種アイデアの共有ができていない
資金調達	協力して資金調達できていない
法律制度	連携して制度設計ができていない（食品ロスに対する強制力なし）
商習慣	需給予測精度を向上させる仕組みがない
国民意識	消費者の監視の目不足、鮮度や欠品に対する考え方が過剰
企業間連携	ビジネスマッチングができていない（プラットフォームが存在していない）



各種課題を組織横断的に捉え、
議論・連携・アイデアを出し切るべき！

20年後に向けた提言の概要

提案：愛知県“食ロスゼロ”プラットフォームを構築



食品ロス削減 + 届くべき人に、届くべき食による価値を！

提案の内容

プラットフォーム活用によるアウトプットイメージ

例：食用油の廃棄×魚の廃棄×プラットフォーム

例：おからの廃棄×魚の廃棄×プラットフォーム

商品開発

抗酸化効果
吸収力抜群なフィッシュオイル！

商品開発

食物繊維豊富・整腸効果抜群
フィッシュミール

私たちが幸せにしたい愛知県民へのアウトプット

ヤングケアラー

親：介護食の提供
子ども：完全食

高齢者老老介護
サプリ・不足栄養素

障がい者
完全食・ペースト状

女性
鉄分・簡易キット

失業者・貧困者
高カロリー食品提供

就業機会創出！

食品ロス削減！

提案実現のための具体的な取組 (アクションプラン) と実現可能性

食品ロス削減プラットフォーム 展開スケジュール



流通	協働物流の積極参入
システム	ドローン技術の参入
拡充	マイナンバーデータ連携 パーソナルヘルスデータ連携
KPI	AI活用→ディープラーニング
目標	23.45万t > 18.8万~14.1万t > 9.4万t
	50%削減 > 60~70%削減 > 80%削減

波及効果

波及効果	
直接的	食品廃棄物削減 食品ロス削減
間接的①	貧困率解消、健康増進 食品自給率解消
間接的②	就業機会の創出
	研究開発に繋がるアイデア創出 等 食品ロス以外のビジネスマッチング、 新たな繋がりが自然発生的に増殖 等

目指したい“未来”の実現

